

岡山県栄養改善協議会のあゆみ

岡山県の栄養改善地区活動が本格化するまでの経緯としては、昭和37年度に保健文化賞を受けた岡山県都窪郡清音村の地区活動に始まる。この清音村は昭和23年9月「栄養改善標準村」に選ばれて以来、年次別にスローガンを定め、最初は保健所栄養士等が部落に出向き指導していたが、次第にリーダー(栄養委員)を中心とした自主的な活動に移行し、住民参加を盛り上げた。

その後、昭和32年7月福渡及び西大寺保健所において、モデルケースとして栄養改善の地区指導者養成のため、栄養学級・栄養教室を開設した。

昭和33年4月には「栄養及び食生活改善の組織活動実施要領」を設定して以来、地区活動は全県下で本格的なものとなった。このため地区活動を組織化する動きが起こり、市町村単位組織の結成から保健所単位にまとまり、昭和39年10月に岡山県栄養改善協議会が誕生した。

この組織が、疾病予防、健康増進、体力増強及び人口資質の向上を図るための最も大きな基礎的条件である栄養及び食生活問題を組織の力により地区ぐるみの改善を推進すべく広範な活動を続けている。

昭和39年度	岡山県栄養改善協議会の結成
昭和46年度	南喜一賞受賞
昭和48年度	保健文化賞受賞
昭和50年度	創立10周年記念大会開催
昭和53年度	三木記念賞受賞
昭和59年度	創立20周年記念大会開催
平成 6年度	創立30周年記念大会開催
平成 9年度	松岡良明賞受賞(がん予防啓発運動に対し)
平成16年度	創立40周年記念大会開催
平成26年度	創立50周年記念大会開催
平成29年度	地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰